

# 難症例義歯・在宅歯科訪問診療にと 応用範囲が広がる義歯床用長期弾性 裏装材「ジーシー リラインII」の臨床

プライマーの改良でさらに効果が安定した「ジーシー リラインII」

東京都新宿区 矢崎歯科医院  
歯科医師  
矢崎秀昭



## はじめに

以前より顎堤の形態や粘膜の性状により義歯装着後の疼痛が生じやすい症例に、シリコン系の弾性裏装材が用いられてきた。しかしながら、材質の耐久性やレジン床部からの剥離など、長期に使用するには多くの問題点があった。

この度プライマーの改良などにより、義歯床との接着力が大幅に向上し、さらに金属用のプライマーにより金属床にも接着する「ジーシー リラインII」が新たに開発された。また、裏装したシリコンと義歯床との移行部をよりスムーズにし、さらにこの部分からの剥離を予防するために開発された辺縁処理材を

使用することにより、より審美性の向上が得られるようになった。

また、経過において床縁部からシリコンの剥離が生じた際にもこの辺縁処理材を用いることにより、容易に修復することができるようになった。適応症例としては顎堤粘膜が薄く疼痛が生じやすいもの、顎堤のアンダーカットが強く義歯の維持が得にくいもの、高度にフラビーガムが存在する症例などである。

超高齢社会となり、自分が診ていた患者さんの在宅歯科訪問診療の必要性がますます増加すると思われる。訪

問診療などにおいて、全身的な疾患などから抜歯などの処置ができないことも多くなっている。このような患者さんの嚙咀能力を、短時間に回復させるために、このシリコンの弾性裏装材は最適である。在宅歯科訪問診療に出掛ける際には、必需器材の一つとして持参することをお勧めする。



図A プライマー(レジン用)の改良により初期の接着力が向上し、床と弾性シリコンの移行部の研磨が容易となり、さらに長期に接着し、金属床にも応用可能となった。



図B 辺縁処理材を弾性裏装材と床との移行部に塗布することにより、この部分が滑沢となり、審美的に優れ、さらに辺縁からの剥離が防げる。



図C レジンの床の部分のみにプライマー(レジン用)を塗布し、辺縁処理材を添付のスポンジを用いて裏装材と床との移行部に塗布する。



図D 辺縁処理材を総義歯などの全周囲に塗布する場合は、付属のディスポーザブル筆を用いて素早く塗布するほうが効率的であり、スムーズに行うことができる。



図E 長期弾性材の応用には直接法と間接法がある。必要な弾性を得るためには間接法(右)が望ましいが、使用している義歯を一時的に預かる必要がある。



図F 在宅歯科訪問診療においては義歯の症例が多く、さらに残根上義歯などにおいて、手早く咀嚼機能の回復のために、ラインIIは大変有効である。

## 直接法による症例

### 症例1 上顎の前歯部に高度のフラビーガムがある難症例



1-1 上顎前歯部に高度のフラビーガムがあり、使用している義歯の咀嚼不全と機能時の義歯の離脱および、咬合時の前歯部の疼痛を訴えた。



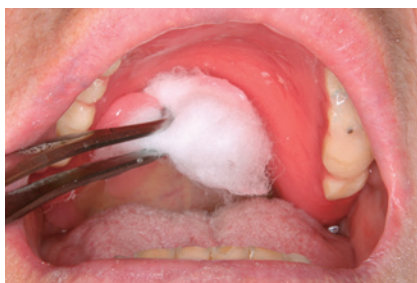
1-2 咬合関係は高度な反対咬合であり、上顎義歯の機能時の維持は大変困難な状態である。



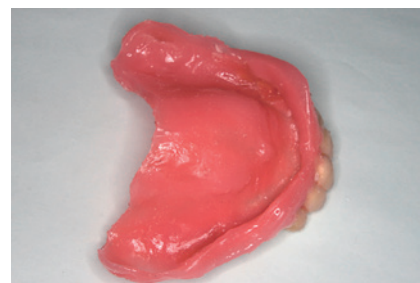
1-3 使用中の義歯の前歯部の床基礎面を大幅に削去し、フラビーガムの粘膜があまり変形せずに弾性裏装材で包み込むようにした。



1-4 床基礎面に弾性裏装材を築盛した義歯床を上顎に挿入し、できるだけ臼歯部で咬合するように誘導した。



1-5 高齢者や在宅訪問診療などにおいて、上顎の床裏装や咬座印象に際しては、裏装材や印象材などの誤飲を防ぐために、ワッテで素早くふき取る。



1-6 弾性裏装材の裏装により、開口時や機能時の義歯の維持と安定が得られた。裏装材との床移行部を調整し、辺縁処理材を塗布した。

### 症例2 下顎顎堤にアンダーカットがあり、義歯の維持と疼痛への対応



2-1 下顎顎堤に高度なアンダーカットがあり、顎堤の歯槽頂部の粘膜に義歯による疼痛が度々生じる。



2-2 義歯基礎面の調整を繰り返すことにより、義歯の安定と維持力の低下が認められ、開口時や機能時に義歯の浮き上がりが生じてきた。



2-3 義歯の基礎面を少し削合しラインIIを注入した。



2-4 軽く咬合せせ、次いで開口させ、開口時の床研磨面を頬側の可動粘膜により形成した。



2-5 床基礎面を確かめると、弾性裏装材が顎堤のアンダーカットの部分にも添加されている。



2-6 開口時の義歯の浮き上がりも認められず、義歯の安定により、顎堤部の義歯による疼痛も生じなくなった。

### 症例3 磁性アタッチメントの支台歯の疼痛などへの対応



3-1 支台歯1歯のみの磁性アタッチメントの過重負担などから、残存歯の咬合時の疼痛を訴え来院した。



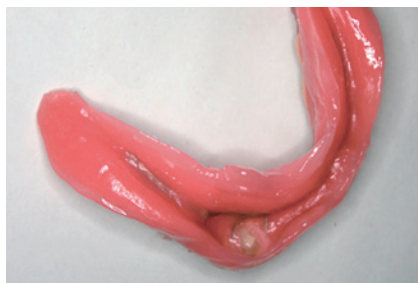
3-2 長期に磁性アタッチメント義歯を装着していて、顎堤の変化などから支台歯に負担がかかり、支台歯の疼痛や、義歯の安定が失われることがある。



3-3 磁性アタッチメントを義歯床から除去して、義歯辺縁および床基礎面を少し削合した。



3-4 リラインIIを義歯基礎面に注入した。



3-5 磁性アタッチメントを除去したことにより、義歯咬合時の支台歯の疼痛も大幅に軽減した。



3-6 弾性裏装材により義歯が安定し、磁性アタッチメントがなくても、十分な義歯維持や咀嚼機能の回復がみられた。

## 間接法による症例

### 症例4 顎堤の吸収による下顎難症例に間接法で対応した症例



4-1 顎堤の吸収が進行していて、義歯の安定が得にくく、調整を繰り返したが、度々疼痛が生じた。



4-2 義歯による疼痛を軽減するため、リラインIIを直接法にて義歯に裏装した。



4-3 弾性裏装材を応用したことにより、義歯の疼痛が消失し、安定も得られた。



4-4 しながら弾性裏装材を添加してから数日後に、下顎舌側の顎堤に義歯による疼痛を訴えて来院した。



4-5 顎舌骨筋線部と舌側床縁部に潰瘍形成がみられた。いずれも弾性裏装材の十分な厚みが得られていない部位である。



4-6 間接法では、使用中の義歯を預かる必要があり、この間使用する複製義歯の作製にはジーシーのデュプレジン、デュープフラスコが便利である。



4-7 咬座印象のため、床に印象用のシリコン接着材を塗布する。この間は作製した複製義歯にティッシュコンディショナーを添加して使用してもらおう。



4-8 印象用のシリコンで咬座印象を行う。この際、開口時の可動粘膜の状態を義歯の研磨面に印記するように数回開口させる。



4-9 ジーシー フュージョンIIモノフェイスタイプを用いて咬座印象を採得した。義歯床の床研磨面は開口時の可動粘膜により形成されている。



4-10 レジン重合用フラスコに咬座印象を行った義歯を埋没する。



4-11 印象面に石膏を注入する。石膏硬化後にフラスコを開け、石膏面に弾性裏装材が付着しないようにワセリンを塗布する。



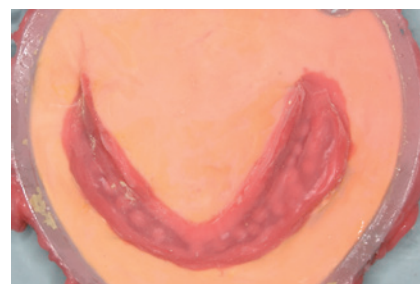
4-12 義歯床を約2mm程度削合し、弾性裏装材の弾力を確保できるようにする。さらに床基礎面にラウンドバーなどで、裏装材の保持用の形成をしておく。



4-13 石膏面に分離材としてワセリンを塗り、レジン床にプライマー(レジン用)を塗布して、リラインIIを注入する。



4-14 上・下のフラスコを嵌合させ、室温で約30分程度保持する。



4-15 弾性を保持できる十分な厚みを、ほぼ均一に裏装することができた。



4-16 裏装材と義歯床との移行部をハサミでトリミングをし、リラインII用の形態修正用のポイント、仕上げ用ホイールにて研磨を行った。



4-17 レジン床の部分のみにプライマー（レジン用）を塗布して、練和した辺縁処理材を、筆を用いて移行部に塗布した。装着時に患者の満足を得ることができた。



4-18 義歯の装着後の顎堤粘膜の疼痛や潰瘍形成もなく、現状においては経過も良好である。

## 在宅歯科訪問診療での「ジーシー リラインII」の活用

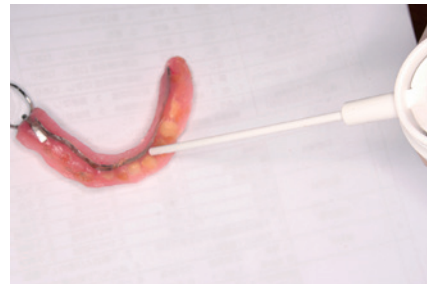
### 症例5 在宅歯科訪問診療での残根上義歯による咀嚼機能の回復



5-1 在宅歯科訪問診療においては義歯の症例が多く、さらに即時に咀嚼機能を回復することが必要となる。



5-2 装着されていた義歯は軟性裏装材が変質して、咬合時に疼痛を生じ、咀嚼不全の状態であった。



5-3 変質した裏装材を除去し、リラインIIを確実に裏装するために、床の乾燥やプライマー塗布後の乾燥などに、簡単なエアースプレーなどを持参する。



5-4 十分な弾力と維持力が得られるように、やや多めにリラインIIを注入した。



5-5 訪問診療など高齢者においては、全身の条件から抜歯などができない症例も多々あり、残根上義歯などにおいて、弾性裏装材の応用は有効なことが多い。



5-6 リラインIIにより即時に義歯の安定と、咬合時の疼痛の消失が認められ、咀嚼機能の回復がみられた。



矢崎秀昭（やさき ひであき）

東京都新宿区 矢崎歯科医院 歯科医師

略歴・所属団体©1967年 東京歯科大学卒業。1968年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座助手。1972年 矢崎歯科医院院長。1983年 東京歯科大学補綴学非常勤講師。1997年 東京都新宿区歯科医師会会長。2004年 日本歯科医師会常務理事。2011年 東京歯科大学臨床教授。2014年 東京歯科大学同窓会会長。日本補綴学会／新宿三水会。